



平成 21 年 6 月 30 日

各 位

上場会社名 イーサポートリンク株式会社
(コード番号: 2493 大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都豊島区高田二丁目 17 番 22 号
代表者 代表取締役社長 堀内 信介
問合せ先 取締役管理本部長 仲村 淳
電話番号 (03)5979-0784
U R L <http://www.e-supportlink.com/>

中期経営計画（数値目標）の凍結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成21年1月19日に公表いたしました中期経営計画（平成20年度から平成22年度）のうち、数値目標について凍結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景

当社は、平成22年11月期を最終年度とする中期経営計画（平成20年11月期から平成22年11月期）を平成20年1月21日に公表し、企業価値の増大に向けた事業活動に邁進してまいりました。

当該中期経営計画において新たなサービスとして収益拡大を見込んでいた生鮮MDシステムの導入につきましては、平成21年1月のシステムリリース以降、農産品を対象とした取引先への導入を進め、また、水産品・畜産品を対象とした操作説明会を行ってまいりました。

システムの導入は順次進んでおりますが、当初導入スケジュールとの乖離が生じており、本日付「平成21年11月期第2四半期決算短信」で公表しましたとおり、平成21年11月期は赤字決算となる見通しを立てております。このような現状の業績を鑑み、平成21年1月19日に公表しました中期経営計画の数値目標を一旦凍結することといたしました。

中期経営計画の基本方針および重点施策につきましては、今後も継続実施するものとし、業績回復に向けてグループ全体で取り組んでまいります。特に、生鮮MDシステムにつきましては、平成21年5月末で農産品を取り扱う約180社の取引先との取引を開始しており、今後数ヶ月で農産品に加え、水産品・畜産品などの取引先約270社との取引開始を予定しております。当該取引先への導入に注力することにより、平成21年11月期中に生鮮MDシステムの単月黒字化を目指すとともに、平成22年11月期以降で生鮮MDシステムの年度での黒字化およびグループ全体での黒字回復を目指してまいります。

なお、平成22年11月期の予想数値につきましては、平成21年11月期の決算短信で公表いたします。

2. 基本方針

当社グループは、生鮮流通の新しいスタンダードを目指して、長年の生鮮青果流通活動の経験から蓄積された独自のノウハウと、ビジネスプロセスアウトソーシングにより、生産者・中間流通業者・小売業者・生活者の全てをWIN-WINの関係にしていくということを基本的なビジネスコンセプトとして、企業運営をしてまいりました。

当社グループは、固い顧客基盤に支えられる「基幹ビジネス」に加え、大手量販店とその納入業者を対象とした「調達支援ビジネス」、国産青果物等の生産者・生産者グループを対象とした「販売支援ビジネス」の新たな事業展開に取り組み、企業価値の増大に邁進する所存です。

3. 重点施策

- ・「基幹ビジネス」において、更なるローコスト化・生産性向上を追及

当社の取扱数量は減少するという前提としております。こうした中でコストダウンに鋭意努力し、安定的な利益の確保を目指します。

- ・生鮮MDシステム（「調達支援ビジネス」）の販売に注力

第2の事業の柱として、平成22年11月期以降の収益の柱として育成してまいります。スピードと集中を旗印に、全力で本事業を推進していく所存です。

- ・「販売支援ビジネス」における基礎固めを完了

㈱農業支援において、りんごの受託販売に加え、国産農産物のマーケティング事業等を平成20年11月期に開始いたしました。平成21年11月期以降での黒字化を達成するべく、体制の構築、販路の確保に努めてまいります。

- ・コーポレートガバナンス、内部統制の充実

コンプライアンスはもちろんのこと、業務の効率性等も視野に入れたコーポレートガバナンスの強化を図ってまいります。

以 上